

令和3年第1回
周防大島町教育委員会会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時
令和3年2月22日（月） 9時59分～11時34分
- 2 場 所
周防大島町役場東和庁舎2F 会議室
- 3 出席委員
西川教育長、中村委員、國行委員、柏谷委員、
- 4 事務局出席者
永田教育次長、木谷総務課長、辻田社会教育課長、青山学校教育課長、
中原総務班長
- 5 欠席者
沖広委員
- 6 傍聴者
なし
- 7 調整者書記
中原総務班長
- 8 議事録署名委員の決定
中村委員及び國行委員
- 9 議題及び議事の概要、質問または討論をした者の職及び要旨
 - (1) 議案第1号 令和3年度周防大島町教育の基本方針について
説明者：西川教育長、学校教育課長、社会教育課長、総務課長
質疑・意見等
(委員) 「人と自然が響き合う」という都会ではできない経験が自分の大きな財産になっている。勉強も大事であるが小学生にしかできない体験をするべきであるという意見。
(事務局) 自然体験を行う学校もあるが少し弱い印象である旨説明。
(委員) 確かな学力の定着でICT機器を一人一人に渡すことは大事なことであるが、修学旅行や社会見学等の体験的なことも学校教育として展開して欲しいという意見。
(事務局) 自然体験や地域の文化に触れ周防大島のいいところを学ぶ等の取り組みを進めている。また、学校ごとに拡大集合学習で集まっているが、オンラインを利用したの交流を頻繁に行い今後も活用していく旨説明。
(委員) 社会体育施設の利用が少ない現状で体験学習的な取り組みができるかと利用が増えないかという意見。
(事務局) 宮本常一記念館やハワイ移民館では学芸員や移民の方の話を聞いたり模型に触ったりいろいろな体験ができる。インターネットで調べるので

はなく自分の足で歩き、文献を見て聞いて学習していくことを大事にしたい旨説明

(事務局)今年度も宮本常一記念館の学芸員がふるさと学習の取り組みとして長期的な交流学习を行っており、地域の素晴らしい素材を活かした学習を継続していくことが大事である旨説明。

(委員)最近の世の中は道徳心、公共心が欠落していると感じることが多く、学校教育で先生が行う道徳教育だけではなく、ゲストティーチャーを招いて授業を受けることで何か違った受けとめ方ができるのではないかという意見。

(事務局)道徳の授業を要として学校教育全般で行うのが道徳教育と言われており、学校によっては道徳の授業の中でゲストティーチャーに来てもらったりしている。令和3、4年度周防大島中学校が道徳教育プロジェクトの研究指定校になる予定であり、連携しながら道徳教育を進めていく旨説明。

(委員)小学校の教員採用試験の採用倍率が2倍で全国ワースト5となっているが、人材育成のため教育委員会や学校でできることはないのかという質疑。

(事務局)人材育成については、新規採用者の3年で異動という原則を利用して、新たな分野に挑戦しようとする若い先生の発掘を行う等県教委と連携して進めている。ICT関係は、積極的に授業へ活用し研修の充実等に取り組んでいる旨説明。

(委員)県下の図書館ネットワーク化が進み取り寄せもでき大変助かっている。行政改革でいろいろやってはいるが、図書館は近くにある欲しいという要望。

(事務局)行政改革特別委員会からは、総合支所等で図書の検索、予約ができる状況を整え、図書館の集約と充実を目指すことを提言されている。各地区にある図書館はその地域にあることが大切であると考えため、現段階ではすぐに統合することは困難であろうかと思うが、図書館に係る経費の削減等少しずつ進めている旨説明。

(事務局)図書館機能を集約することの提言を受けているが、教育委員会としては4図書館全て残したいと考えている旨説明。

(委員)障害者の方も一緒にできるスポーツを照会し取り組んでいくことができないかという意見。

(事務局)総合体育館の指定管理の業務の中に地域に根差した取り組みを行うことも含まれているため、指定管理者に提言していく旨説明。

教育長 議案第1号について承認いただけますか。

委員 承認。

(2)議案第2号 東和地区の小学校統合方針案について

説明者：総務課長

質疑・意見等

(委員) アンケートはいつ行ったかという質疑。

(事務局) アンケートは昨年2月から3月にかけて実施した。油田小学校と森野小学校の統合について、油田小学校の保護者から児童が少ないため森野小学校と統合して欲しいという保護者の総意を受け、油田地区の地域説明会を実施した。その場では、地元の小学校がなくなることはやむを得ず保護者の意見を尊重するという結論にはなったが、東和地区の小学校統合の計画に関する意見もあった。説明会は森野小学校区、城山小学校区でも行っており、将来的な東和地区の小学校統合の話にも触れている。保護者アンケートでは、地域に学校がなくなることへの異論があることは確かであるが、75%は賛成系の意見となっている旨説明。

(委員) 中学校統合の時も反対意見として少人数学級があるからわざわざ町外から来たという話が合ったが、令和8年には完全複式の2校になってしまうことを考えたら、ある程度適切な児童数も必要かと思う。最近に移住者も増えているため、少人数学級ではなく、ある程度の大きさの学校規模を求める人もいるのではないかという意見。

(委員) 少人数のメリットとしてみんなで切磋琢磨するところの大切さもあると思うが、保護者の意見を聞いて進めていくことが大事という意見。

(委員) 森野小学校へ令和8年に入学する児童は1人になっているという意見。

(事務局) 中学校統合は平成29年12月に決定したが、その時より予想以上に子供が生まれていない旨説明。

(委員) 子供の年齢が低ければ低いほどアンケートの回答率がいいのは、自分の子供の学校への関心が高いという意見。

(事務局) 昨年の小学校6年生の保護者にも出しているが回答率は低かった旨説明。

(委員) 平成27年の中学校統合に対するアンケートの回答者の中に、町外の中学校に通っている生徒が二十数名いたと記憶している。町内の学校にない部活をやりたいということで町外に出る子供が多かったが、この町外に出る子供を意識して統合を進めることもできるのではないかという意見。

(事務局) 中学校から町外へ出ることは大きな課題である。スポーツで出る方が多いが学力を求めて行く方もいる。近くに魅力のある学校があれば時間をかけて遠くの学校へ通う方も止まると思うため、中学校教育の中身を充実させていくことが大切である旨説明。

(委員) 城山小学校は、子どもの数が1回減るがまた6、6人と増えるからそのままでもいいのではないかという意見は確かにあるが、令和8年には

完全に複式となるから統合も見据えなくてはいけない。統合時期は令和5年とあるがいつかという質疑。

(事務局) アンケートの統合希望時期は令和4年4月1日であった。6、6人という人数は、1・2年生であれば12人は9人以上であるため単式であるが、他の学年であれば12人は複式となる。できるだけ早めに統合して単式を長くしてほしいという意見も聞いている。仮に令和5年に統合すれば4年間は単式学級となり、早く統合するほど単式学級の時期は長くなるのは事実である旨説明。

(委員) 東和中学校はまだ校舎も新しく設備も整っているため良いと思うという意見。

教育長 議案第2号について承認いただけますか。

委員 承認。

10 議決事項

議案番号	内 容	議決結果	議決日
議案第1号	令和3年度周防大島町教育の基本方針について	承認	令和3年2月22日
議案第2号	東和地区の小学校統合方針案について	承認	令和3年2月22日

(教育長) 以上で、教育委員会を閉会します。